

おおもり

令和元年6月7日

東根市立大森小学校
学校だより83号

選手的笑顔を引き出す、「さくらんぼマラソン」の全校応援！

主体的なPTA活動に心から感謝！

開校当時からPTA恒例活動となった「さくらんぼマラソン全校親子応援」が、今年も絶好のマラソン日和となった6月2日（日）に開催されました。沿道を埋め尽くした大森小学校の応援団の激励に、日本中のランナーが勇気づけられ、本大会への参加を心から満足しているのではないのでしょうか。

大きな声や拍手での応援に笑顔で答え、時にはハイタッチをしてきたり、走るのをやめて握手を求めてくる選手もいたりして、その光景を見ているだけでも心が温まると共に、この活動の価値の高さを感じました。

応援が終了し、全体の解散前に、杉浦PTA会長から、「皆さんの応援の素晴らしさは、通過する選手の笑顔に表れていました」という内容のお話がありました。そのお話をお聞きして、私もこの活動に参加していることに対して、とても誇らしい気持ちになりました。

中心となり企画してくださったPTA総務部の皆さんは勿論のこと、全保護者の皆様、そして、この応援の際にご協力くださいました地域の方々にも心より感謝いたします。



笑顔はリレーして広がっていく！

人はどんな時に「笑顔」になれるのでしょうか？

「うれしいとき」「幸せを感じたとき」「何かを成し遂げたとき」など様々でしょう。もっと具体的に表現すれば、「何か目標（目的）に向かって一生懸命に努力し、それを成し遂げたとき」「周囲の人と一緒に活動し、楽しかったとき」「他の人に、自分が認められたり、褒められたりしたとき」などではないかと思えます。今回のマラソンの応援は勿論のこと、学校における直近の活動では「市や地区の陸上競技大会」や「わんぱく相撲大会」、「ロードレース大会」や「学校内のマラソン記録会」、さらには、「日々の授業」の中においても、子どもたちや職員のたくさんの笑顔を見ることができます。

「笑顔」は、心や体の健康面や勉強や運動、仕事などの活動面もうまく運ぶための力になるともいわれます。そして、笑顔の人の周りには人が集まってきます。

さらに、「笑顔」は、一人から二人へ、そして全体へと広がっていきます。そんな「笑顔のリレー」が今の
大森小学校ではたくさん見られます。

大森小学校のスローガンは「元気 本気 笑顔いっぱい 大森っ子」

今、人と人との関わりが希薄になってきていると言われる時代です。だからこそ、大森小学校では「元気・本気・笑顔いっぱい 大森っ子」のスローガンのもと、子どもたちも、そして保護者の皆様や職員も「笑顔になれるまなびの環境づくり」を意識して、日々努力していきたいと考えています。

（校長：土 屋 常 義）